

## 速乾一液弱溶剤形変性エポキシさび止め塗料

## ザウルスEX II

系 統 速乾一液弱溶剤形変性エポキシさび止め塗料

 適用規格 JPMS28 一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント  
 \* 主な適用素材参照

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

## 特 長

- 1) ターペン希釈が可能で、旧塗膜適性が広いです。
- 2) 幅広い上塗り適性があります。
- 3) 有害な鉛を含まないさび止め塗料です。
- 4) JIS K 5625と同等以上の防錆力があります。
- 5) 一液速乾形であり、作業効率が良好です。
- 6) 低臭気で塗装作業性に優れています。
- 7) 内外部に幅広く適用できます。

## 塗装条件

塗装方法	は け	ローラー	エアレス スプレー		
希 釈 率	0~10%	0~10%	5~15%		
標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	0.13	0.13	0.17		
希 釈 剤	塗料用シンナーA				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。  
 標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。  
 公共建築工事標準仕様書の塗付け量は0.10kg/m<sup>2</sup>です。

## 塗装間隔

項 目		温 度	23°C	
標準塗装間隔	最 短	4 時間		
	最 長	7 日		
使用時限		—		

## 塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	4kg、16kg * 黒さび色 16kgのみ
2 混 合 比	—
3 色	白、赤さび色、グレー(25-80A近似)、 黒さび色、淡彩色(調色対応)
4 つ や	つや消し
5 仕 上 ぎ 感	平 滑
6 塗 料 比 重	1.46(赤さび色)
7 溶 剤 比 重	0.82
8 加 熱 残 分	71%(赤さび色)
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	イソプロピルアルコール キシレン エチルベンゼン インプチルアルコール メタノール
11 有 機 則 / 特 化 則	第2種有機溶剤等
12 消 防 法 による 危 険 物 区 分	第4類 第2石油類(非水溶性)
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	—

## 主な適用素材

鉄、トタン、化成処理亜鉛鋼板  
 \* 公共建築工事標準仕様書(新設)の亜鉛メッキ鋼面では使用できません。

## 主な適用下塗塗料

## 主な適用中塗塗料

## 主な適用上塗塗料

セラMレタン、アレスエコレタンⅡ、セラMシリコンⅢ、コスモマイルドシリコンⅡ、パ  
 ワーホルスF4、SDホルスF4、エコホルスF4、アレスネクストⅡ、スーパーシリコン  
 ルーフペイント、ACルーフペイントリッチ、SDルーフペイント、アレスレタン(注7)など

## 使用上の注意事項

- 1) 塗装時や塗料取り扱い時は、換気を行ない火気厳禁として下さい。
- 2) 皮膚に付着した場合は速やかに拭き取り、水洗いして下さい。
- 3) 被塗面の油・湿気・塵埃・さび・浮いた旧塗膜などは完全に除去してから塗装して  
下さい。
- 4) アレスセラマイルドグロスなどのNADアクリル形旧塗膜上に塗装しないで下さ  
い。
- 5) ワレる場合があります。
- 6) クロム酸塩処理された溶融亜鉛メッキ鋼板は塗装には適しません。  
新設のとぶ漬け亜鉛メッキ鋼板上への塗装は付着性、耐久性に優れる下塗り  
(エポマリンGXなど)をご使用ください。
- 7) アレスレタンを塗装する場合は、23°Cでは8時間以上、5°Cでは24時間以上の  
インターバルが必要です。
- 8) その他の適用上塗りについては、別途お問い合わせ下さい。
- 9) はけ・ローラーなどの塗装用具は、ラッカーシンナーで洗浄して下さい。
- 10) コンクリート・モルタルなどのアルカリ性素材への塗装は避けて下さい。  
塗料が染み込んだウエスは必ず焼却するか、水の入った容器に入れて処理  
して下さい。
- 11) 換気の良い場所で取り扱い、容器はその都度密栓して下さい。
- 12) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS  
(安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

 ※本製品説明書の内容には、予告なく変更することがありますのであらかじめ  
 ご了承ください。